

昇級昇段基準について

2025年4月23日

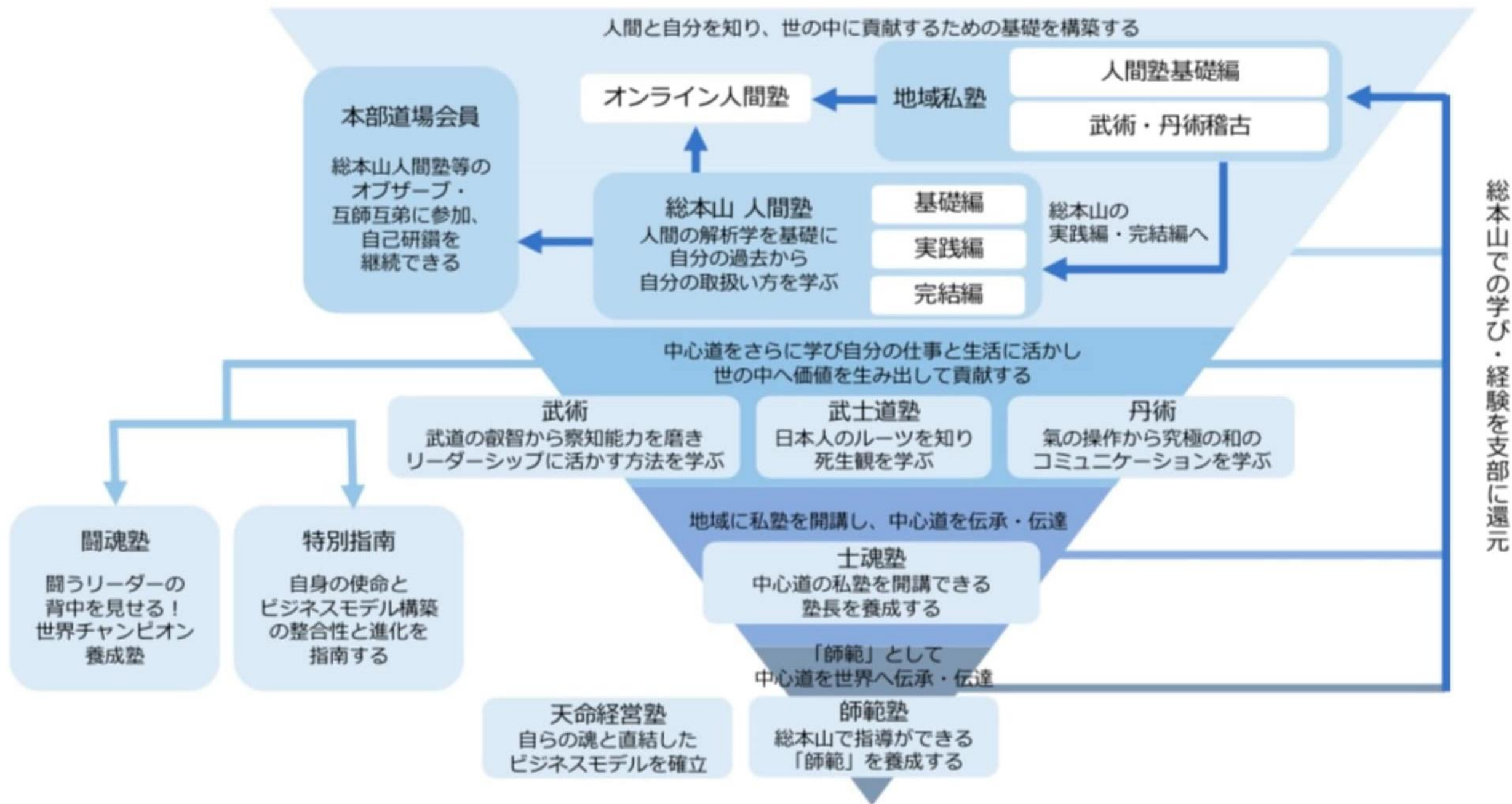
黒
世
帯
Kuro-Obi



中心道の黒帯とは

お互いに切磋琢磨しつつ、黒帯を育て、中心道を
生涯かけて伝承伝達する覚悟を持った人間である。
その人間同士のつながりを「同士」という

中心道ロードマップ



A group of approximately 12 martial artists, both men and women, are standing in a line in a dojo. They are all wearing black uniforms (gi) with black belts. The background features a large, stylized yellow and black circular emblem on a dark curtain. The dojo has a high ceiling with visible metal beams.

黒帯への道 Road to the black belt

中心道武術2025

中心道式進化度診断

稽古→氣と身体の使い方→身

座学→フィードバックカー→口

互師互弟→動作と会話の内容→意

上記から、塾生の現在視点での、潜在意識の顕在化レベル
および知覚統合レベルを見極め、素材の進化度（身口意の
一致）診断を行う

【昇級・昇段審査審査基準】

中心道の昇級・昇段では以下の3つの要素を複合的に評価して行います。

『座学・稽古・互師互弟』

『座学』

座学では中心道の基本的考え方となる法則「空の法則・中心の法則・波の法則」の理解度と実践度を評価します。

また理解度と実践度は座学でのフォードバック力と実生活での法則の実践度をもって測ります。

『稽古』

武術稽古を実践できる基礎体力と武術稽古中の身体操作技術及びコミュニケーション武道力を基準として評価していきます。

身体操作技術は基礎稽古の習熟度を測り、コミュニケーション武道力は組み手、組技での対人対応力である見極め力と誘導力を測ります。

『互師互弟』

互師互弟では互師互弟中の立ち振る舞いを通して、人財としての成熟度を評価していきます。

立ち振る舞いの中から視座と人間力を推し量り、また社会的成功の状態と社会への影響力も同時に推し量っていきます。

以上 3 つの要素を次ページ以降の基準を基に日々のあり方と言動から評価していきます。

また、それぞれの評価は総合力を測るものであって各基準全てを完璧にクリアする事を昇級・昇段の目標とはしていません。

概ね総合力の8割程度を目安に相対評価をもって判断していきます。

座学	法則の理解	座学でのフィードバック力
黒帯	法則に基づいて指導し育成している	場全体の状況に応じたフィードバックで場の気づきを押し上げることができる
茶帯	法則について正しく伝えることができる	自身の経験や体験を通して得たフィードバックにより他者への気づきを促すことができる
緑帯	法則を実生活に活用できている	自身の生活に当てはめた気づきをフィードバックできている
黄色帯	法則を理解し実践できている	稽古の体験に当てはめた気づきをフィードバックできている
青帯	法則を理解できている	自身の理解をフィードバックできている

稽古	基礎体力	身体操作技術	コミュニケーション武道力
黒帯	20人組手を実施できる持久力を有している（腕立て静止5分以上・三点倒立5分以上・重力スクワット3分100回以上）	中心（or波）の使い方を指導できている	組手・組技のデモンストレーションができ、指導ができている
茶帯	10人組手を実施できる持久力を有している（腕立て静止3分以上・三点倒立3分以上・重力スクワット3分70回以上）	中心力（or波）を発揮できる稽古になっている	組手・組技を通して相手のあり様に変化を生み出すことができている
緑帯	組手・組技を長時間実施できる持久力を有している	中心（or波）を使った動きで稽古ができている	組手・組技から相手のあり様を感じ取ることができている
黄色帯	武術の稽古についていくことができる持久力を有している	中心(or波)を意識した基礎稽古ができている	組手・組技から自身のあり様の変化を生み出すことができている
青帯	武術の基礎稽古について行けている持久力を有している	1人で基礎稽古ができている	組手・組技から自身のあり様を感じることができている

互師互弟	視座・人間力	社会的成功・影響力	立ち振る舞い
黒帯	視座を最大に高め利他の精神のもと地球人類の恒久平和のために活動することができる	自身の中心を元に業界や日本へ影響力と社会的価値を生み出すことができる	互師互弟の主軸となり場を生み出し、また誘導力を活かして人材の育成ができる
茶帯	自分ごとから離れてより広い社会で自身の価値を持って周りを活かすことができる	自身の中心を元に自身のコミュニティに影響力と社会的価値を生み出すことができる	互師互弟の場作りと色帯への指示指導ができる
緑帯	自身の価値を持って周りを活かすことができる	自身の中心を元に身近な人へ影響力を生み出し、社会的価値を還元することができる	率先模範を示すことで色帯へ背中を見せることができる
黄色帯	活かすべき自身の価値を見つけ磨くことができる	自身の中心を社会的価値に変換を図ることができる	互師互弟内の役割を実践することができる
青帯	自身の人間力の基礎を磨きながら自己を学することができる	自身の中心を見つけることができる	互師互弟内での動きと役割を知る

【昇級・昇段に関する参加回数の基準】

昇級・昇段の目安として**最低参加回数**の基準を以下の通り定めます。
これは絶対的な条件ではなく、個々の成長や取り組み姿勢も踏まえ、総合的に判断します。

■昇級基準（目安となる最低稽古参加回数）

帯の色	稽古回数の目安	想定期間
青帯	6回以上	半年以上
黄帯	12回以上	1年以上
緑帯	24回以上	2年程度
茶帯	36回以上	3年程度

■昇段基準（目安となる最低稽古参加回数）

段位	稽古回数の目安	想定期間
黒帯	60回以上	5年程度

■補足：稽古回数へのカウントについて

以下のようなイベント・特別稽古も、稽古参加回数としてカウント可能とします。

- 合同稽古
- 道場開き等の特別行事
- その他、本部が認めたもの

これにより、稽古の質・密度が高い取り組みを行っている場合は、期間に関わらず昇級・昇段を早めることも可能とします。

最も大事なこと！

審査前に大体 **70%**
が決まっている

中心の道

天地万物、神羅万象全ては空であるということを学びなさい

そしてそれを常に前提としなさい

その心眼で世の中を広く見渡しなさい

そうすると、全てはご縁で成り立っているということが観えてきます

自身がそこで生かされているということも

そのご縁ひとつひとつを大切にしなさい

その感謝の気持ちを忘れずに、生まれてきた役割を自覚するのです

そしてそれを生涯全うしなさい

そう肚をくくるのです

そしてその道を征きなさい

生命ある限り、その想いで、瞬間瞬間を生き切るのです

それが、魂を輝かせるということなのです

それこそがあなたの歩む、中心の道です